

社会福祉法人 敬親会  
特別養護老人ホーム  
城南の杜



設計・監理 株式会社 佐藤総合計画  
施工 西松建設株式会社  
施主法人 社会福祉法人 敬親会

# 城南の杜

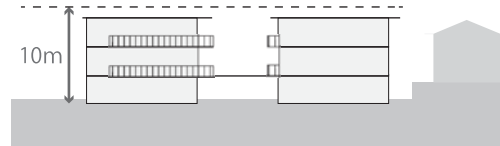
jonan no mori

## 施設概要

建築主 : 社会福祉法人 敬親会  
 施設名称 : 特別養護老人ホーム 城南の杜  
 構造・階数 : RC造、地上3階  
 敷地面積 : 6950.54㎡  
 延床面積 : 5390.66㎡  
 建物高さ : 9.95m  
 工期 : 2016.12～2017.12



第一種低層住居専用地域: 建物高さ 10m以下  
⇒階高 3.1m、天井高 2.4m、2.25mに抑えた計画



## 『地域に寄り添うみんなの家』

緑豊かで閑静な住宅街が広がる梅林地区に建つホームとして、建物の高さを抑え、大きく2つのヴォリュームに分割し、緑を多く取り入れることで周辺環境に調和する計画としています。地域の方が安心して老後もすごせる生活空間として、入居者が子どもたちの通学を温かく見守り、梅林のまちの雰囲気を感じながら過ごせる空間となります。また、あたりをやさしく照らす灯籠のように、これまで夜暗かった場所に明かりを灯し、地域の防犯の向上に寄与します。

中庭を取り囲む形で2つのユニットをひとつつながりに配置し、明るいリビングやダイニングのある空間は入居者が住みやすく、集約された共用部とひとつつながりの構成により管理・運営がしやすい計画としています。

2つの庭に面して設けられた地域交流室は、地域の方も交えたイベントなど、地域との交流が育まれる空間となり、みんなに愛される地域の家となります。

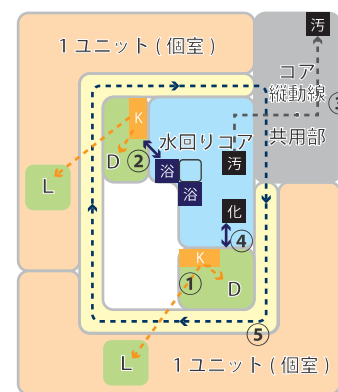
## ■運営面における配慮事項

### ①日中の見守りに配慮したキッチン配置

・職員滞在時間の多いキッチンとリビング・ダイニングが容易に見渡せ各居室の様子も伺いやすい配置

### ②浴室・キッチン職員との連携が容易な配置

・キッチン及び浴室、汚物処理室等の水回りは集約して配置し、キッチン職員と浴室職員との連携がスムーズに行える計画



### ③ユニット内部を通らない汚物動線

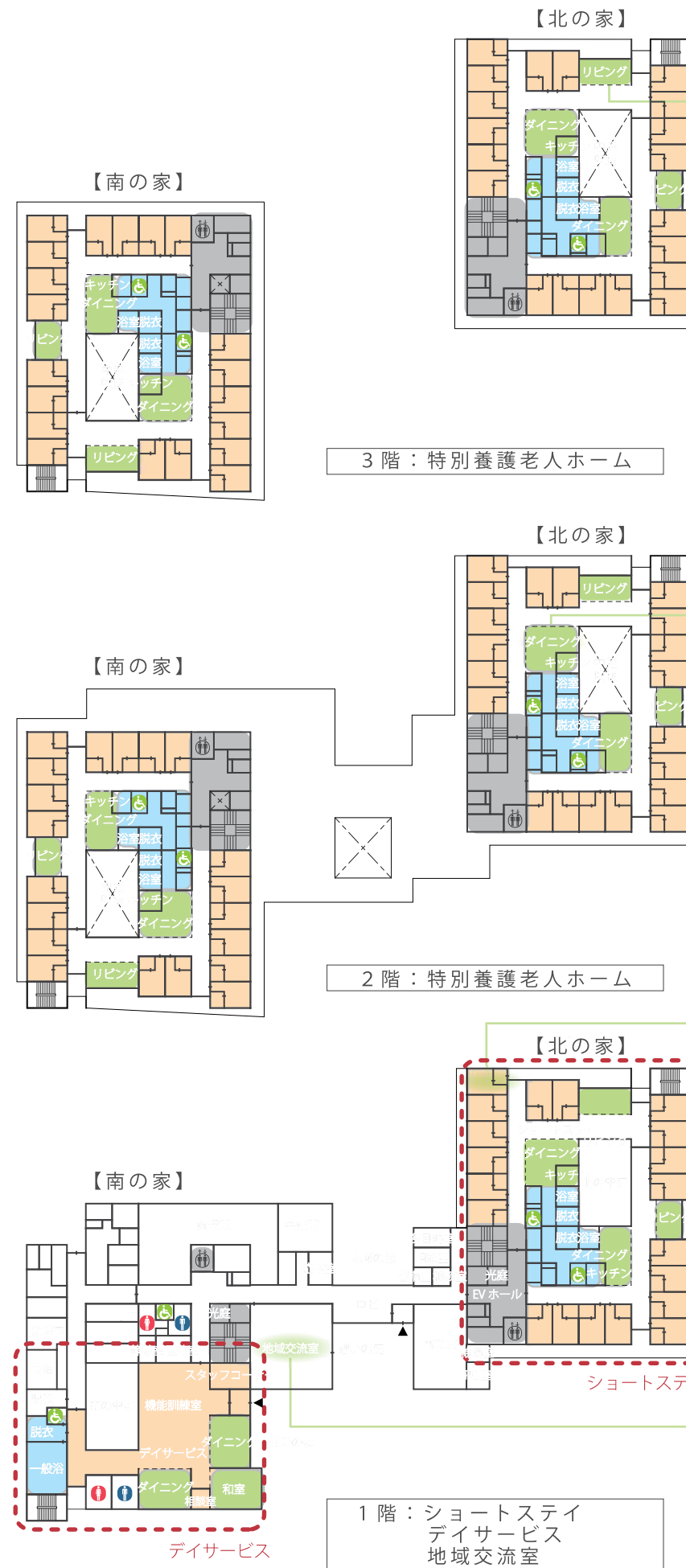
・汚物処理室で処理した汚物は、ユニット内部を介さない動線を設け、生活環境（特に臭気）に配慮

### ④排泄に配慮した、多目的トイレ

・食事の前後、及び入浴の前後に利用の多い多目的トイレは、浴室やダイニングから近い位置に配置

### ⑤夜間の見守りに配慮した回廊型配置

・夜間の2ユニット職員1名体制が可能な中庭を中心としたユニット間の見通しがきく回廊型配置を採用



### リビング

- ・まちに面した明るい空間
- ・通学する子どもや散歩する住民、公園の木々など地域の呼吸を感じられる空間



### ダイニング

- ・中庭を介して隣のユニットの様子が感じられる空間
- ・縦格子により廊下との視覚的つながりと、領域を確保した落ち着いた空間



### 個室

- ・木を基調とした落ち着いた雰囲気空間
- ・独立した洗面と専用のトイレがあるプライベートな空間



### 地域交流スペース

- ・憩いの庭、交流の庭に連続した地域に開かれた交流の場
- ・ホーム内のイベント利用に加え、地域の方の参加も可能なイベントも開催

3階：特別養護老人ホーム

2階：特別養護老人ホーム

1階：ショートステイ  
デイサービス  
地域交流室